

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年1月12日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300534
法人名	医療法人 おさしお会
事業所名	グループホーム かたらい
所在地	鹿児島県鹿屋市笠之原町49番22号 (電話) 0994-43-2195
自己評価作成日	令和5年10月18日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年12月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は母体である同法人の医療機関が隣接しており、病状の変化等が見られた場合には早期対応が可能であり、医療面でも安心して生活を営む事が出来る体制を整えている。また、災害時には同法人の医療機関と密に連携を図り、迅速な対応が可能である。自家発電も設置しており、災害・停電時に活用できる。また、毎月避難訓練を行い、職員や利用者様に周知し、災害対策に事業所全体で取り組んでいる。事業所の理念に基づき、一人一人の気持ちを尊重し、利用者様から寄せられる何気ない言葉を汲み取り、ケアの質の向上に繋げている。ホールには利用者様と作った季節を感じられる作品の展示や行事食の提供を行い、季節の変化を感じて頂けるよう取り組んでいる。毎日の体操に加えて、定期的にリハビリの訓練士が来訪し、語り合いながら楽しく取り組まれている。地域の方からは季節のお野菜を頂いたり、外気浴を行っている時に声をかけて頂くなど、開かれた事業所作りを目指している。職場環境においても研修の実施、労働時間の見直しなど行い、働き甲斐のある職場作りに努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、母体医療機関に隣接して建てられており、月2回の訪問診療や緊急時を含めた24時間の医療連携体制が築かれ、医療面における家族の安心となっている。
- ・地域との交流はまだ控えているが、住民宅に利用者野菜の受け取りに出掛けたり、外気浴や散歩時に住民から声を掛けられるなど、日常生活での交流は継続している。
- ・運営推進会議の対面開催や家族の居室面会、外出等の再開を他事業所の情報や行政の助言等を参考に、今後、検討していく予定である。
- ・管理者・職員は、利用者の個々に応じた言葉や対応に努め、利用者の要望を汲み取れるような声掛けを工夫している。
- ・管理者は、研修会等で職員の質の向上を図るとともに、処遇や業務改善に取り組み、働きやすい職場環境づくりに努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所内に理念を掲示し、職員全員が地域密着型サービスの意義を理解し、その人らしい生活が出来るよう、寄り添うケアを実践している。	理念をリビング等の目につきやすい場所に掲示し各自で確認している。パンフレットや広報紙にも記載している。利用者との会話で理念に沿ったケアができているか利用者の考えを聞いて、ケアを振り返っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ご近所の方から野菜を頂いたり、散歩や外気浴を行うことで顔馴染みの関係性が構築されている。	町内会たよりで地域情報は得ているが参加は控えている。住民からの野菜の差し入れを利用者も一緒に受け取りに行ったり、外気浴時に住民からの声掛けがある等、住民との近所づきあいで交流を大切にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	ご近所の方が近くを通られる際には、挨拶や声をかけて下さり、時には立ち止まって会話して下さり、地域の方々も利用者様の事を理解して下さってる様である。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナウイルス感染症予防のため、対面での開催は実施出来なかったが、資料や活動の様子を掲載したお便りを手渡しでお配りし、委員の方々の意見やアドバイスを頂き、職員間で共有し、サービスの向上に努めている。	コロナ禍のため書面開催で実施し、委員への資料手渡し時に意見交換も行っている。他事業所の運営推進会議に参加し情報を得たり行政からの助言を受け、2月から運営推進会議の対面開催及び家族の居室面会を再開予定である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の資料や活動の様子を掲載したお便りをお渡しし、事故・火災防止対策や、他事業所の実施状況をお聞きし、アドバイスを頂いている。	市の担当者とは、運営推進会議資料手渡し時の意見交換や電話・窓口に出向いての報告・相談をこまめに行って協力関係を築いている。市の研修会は対面・リモートとも積極的に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	事業所が道路に面しているため、ご家族の了解を頂き、暗証番号式の鍵を設置しているが、日中は解放し職員で対応し、安全面に配慮している。職員間で勉強会を実施し、拘束しない取り組みを検討している。	指針を作成しており、委員会は法人で3ヶ月に1回、勉強会は年2回事業所で実施している。不適切な言葉は管理者から個別に注意を促している。玄関は防犯上施錠しているが、外に出たい素振りを察知した場合は職員が一緒に散歩に出かけ、利用者の行動を制限しないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止について定期的に勉強会を実施し、日々のケアを振り返り、見過ごさないよう注意を払い、職員同士でも注意し合える環境作りに努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	勉強会を行い、職員で話し合い、共有し、意識付けを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の締結・解約または改定等の際は、ホーム側の一方的な説明にならないよう、利用者・家族の理解度を確認しながら、丁寧な説明に努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症予防のため面会制限中だが、感染対策を取りながら面会して頂き、その際、家族からの意見や要望なども伺い、職員会議で共有し、取り組んだ事を推進会議で取り上げ、アドバイスを頂き、ケアの質の向上に努めている。</p>	<p>利用者の要望は日常会話の中で聞き、希望の食べ物はおやつや行事食に取り入れている。家族には電話や面会時に要望を聞いて対応に努めているが、感染予防のために玄関での面会を実施していることや外出については検討中であることを伝えて家族の理解を得ている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月、事業所内の会議の時間を設け、職員が気づいた点や要望を話し合い、上司に報告し、職員の処遇改善に努めている。</p>	<p>職員会議で職員の意見等を聞く機会を設けている。日々の業務の中での意見等は、申し送りノートを活用したりグループラインで検討し、処遇や業務改善に反映させている。個別相談は管理者が受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員一人一人の状況把握に努め、技術・能力の向上を目指すよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員それぞれの段階に応じた研修に参加している。個々で対応が困難な事例があった時など、意見交換し、各自のスキルアップにつながるように努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>当系列には3つのグループホームがあり、連絡を取り合っている。他のグループホームの運営推進会議の資料を頂き、意見交換や情報交換を行い、より良いケアの取り組みや、サービスの向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前のアセスメント時、病歴や生活歴を聞き取り、本人の意向や要望を確認し、職員にアセスメント表などを基に周知させ、安心した生活を送れるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前のアセスメント時、本人の要望と共にご家族の想いに耳を傾け、不安な事に対して早期の解決を図り、回答を早く届け、安心して頂けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期面談時、何を必要としているのかを見極め、何が必要なかを提案し、福祉用具購入時は業者との間に入り、アドバイスしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の大先輩であることを常に念頭に、尊敬し寄り添い、共に生活する事を大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>毎月のかたらい便りを通して、生活の様子を写真と共にお知らせし、家族と共に幸せを願い、叶えるように努力している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>自宅近くの方の面会があったり、自宅近くまでドライブしたり、電話等を通して、馴染みの関係の継続を図っている。</p>	<p>家族・知人の玄関での面会による交流を支援し、面会時に職員から近況報告を行ったり広報紙を送付して家族との関係が途切れないように努めている。また、自宅付近へのドライブを行うこともある。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>その方の性格に合った方同士の席の配置を考慮している。洗濯たたみを一緒にしていただいたり、レクレーションを通して利用者同士が関われる環境作りに努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>医療機関へ入院された方や他施設に移動された方へ、電話や手紙を発送し、家族から相談があった場合には相談に応じている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の訴えやケアプランの見直し時、希望や意向を伺ったり、訴えが困難な方は生活の様子を職員間で話し合い、本人本位のケアにつながる様に努めている。	日常会話の中で具体的に要望を言えるように話しかけて、本人の意向を把握できるように努めている。困難な場合は、家族の情報や職員の関わりの中から本人の思いを汲み取るように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前のアセスメント時、本人や家族から生活歴を聞き取り、入所されてからも些細な会話等から、状況把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	活動チェック表を活用し、その日に行ったことや出来ることの把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の意思を定期的に聞き取り、家族の意向も基に、ケアプランを見直し、職員間で共有し、本人や家族の思いに沿ったプラン変更を行っている。サービス担当者会議で出た意見も基にして、介護計画作成に取り組んでいる。	担当者会議を本人・家族・ケアマネージャー・管理者・職員・内科師長等の参加で実施し、介護計画を作成している。モニタリングを3ヶ月に1回、見直しは6ヶ月毎及び状況等に応じて実施し、現状に合った介護計画にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の経過記録として、その日の担当者が記入し、全職員で情報共有に努めている。朝のミーティングや申し送りノートも活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時に必要なサービスを見極め、柔軟に対応出来る様に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	家族への連絡を密にし、面会に来て頂いたり、本人の心身の支えに暮らしを楽しめるように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	同敷地内にかかりつけ医がおおり、定期受診や緊急時にもすぐに対応することができ、本人や家族共に安心して頂ける環境にある。	契約時にかかりつけ医の希望を確認しており、月2回の訪問診療や家族・職員対応によるかかりつけ医の定期受診で、適切な医療を受けられるよう支援している。緊急時はかかりつけ医に連絡し指示を受けて対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的に同敷地内の看護師が訪問している。体調不良等はすぐに連絡し、Drに報告、指示を仰いでいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の医療機関に連絡し、様子を伺ったり、情報交換や相談に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期の在り方について、入所時に説明を行い、家族間でも話し合っている。事業所で対応困難になった場合の同グループ施設との連携も説明している。	契約時に、重度化等の場合の対応について選択肢も含めて説明している。重度化等の場合に医師・師長が家族に説明し家族の意向を確認しており、家族の意向に沿って支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に勉強会を実施し、マニュアルの見直しを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>BCPを策定し、全職員で確認を行っている。毎月、火災訓練を行い、年2回は避難訓練を実施している。</p>	<p>年2回夜間想定避難訓練を実施し、1回は消防署の立ち合いを受けている。地域の協力体制はあるが、コロナ禍のため声掛けは見合わせている。毎月夜間想定自主訓練を実施しており、今後は地震避難訓練も予定している。非常用の備蓄は、2日分の水・ご飯・缶詰・フリーズドライの味噌汁等の食料、及び、カセットコンロ・発電機を確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの性格を理解するように努め、その方に合った対応を心掛けている。	研修を実施し、誇りやプライバシーを損ねないように、その人に合った言葉遣いや対応をしている。さん付けで呼びかけ、入室時・ケア前の声掛け、入浴の同性介助を実施し、リビングで行う申し送りは内容が利用者にわからないように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その方の希望や思いを聞く機会を設け、自己決定できるような声掛けに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れに沿って生活されているが、一人ひとりのその日の気分や体調を把握し、その方の希望を聞きながら支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入浴前は一緒に衣類を選んだり、毎朝、鏡を見て頂き、整髪の声掛けを行ったり、定期的な散髪を行っている。		
	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材を活用し、食べたい物を伺ったり、味付けを教えるなど、希望に添えるよう努めている。料理の下ごしらえや下膳、台ふきなどもして頂いてる。	献立は利用者の希望を入れて職員が作成し、刻み食等で提供している。利用者も一緒に下ごしらえや台拭き等をしている。誕生日の好物やケーキ・行事食・外食等を計画し、食事を楽しんでもらえるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事・水分摂取量をチェックし、食事・水分摂取量が少ない方には代替を提案。習慣にしているもの等、希望に添えるよう努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを促し、個々の能力に応じた支援を行い、清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にて排泄パターンを把握し、声掛けを行い、排泄の失敗をなるべく少なくし、自立支援に向けた取り組みを行っている。	排泄パターンを参考に時間や様子を見て声掛けし、日中はトイレでの排泄を基本に支援している。布パンツ使用を維持している利用者が複数あり、そのほかの利用者は個々に応じた排泄用品を検討して使用している。夜間のみポータブルトイレやオムツを使用する利用者もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事は野菜類を多く摂取できるような献立の工夫や運動を行い、水分補給を促し、便通を整える様に取り組んでいる。それでも改善しない場合は、内服薬で調整している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日を決めて入浴しているが、一人ずつ入浴して頂き、プライバシーを守り、ゆっくり気持ちよく入浴できるよう支援している。希望時や汚染時はいつでも入浴できる体制を整えている。	週3回午前中の入浴を支援しており、個浴をゆっくり楽しんでいる。希望や必要に応じ2人介助や同性介助にも対応し、汚染時は陰洗やシャワー浴・入浴を行っている。嫌がる場合は、様子を見ながら声掛けして入ってもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの状態や体調を把握し、寝具調整や室温調整等、安心して休んでもらえるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	バイタルチェックし、内服支援している。一人ひとりの病状を把握し、服用されている薬の理解を深めると共に、症状の変化があった場合は医療機関に連絡し、確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	昔の知恵を活かして、野菜や花の育て方を職員にも教えて頂いたり、入所時に趣味や特技をお伺いし、生活の中で取り入れられるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症予防のため、限られた場所への外出だったが、花を見たり、ご家族の協力を得て自宅までドライブに出かけたり、外出支援を行っている。</p>	<p>気候の良い日は玄関前や裏庭での外気浴、近隣の散歩を行っている。初詣や花見、自宅付近へのドライブ、外食に出掛けたり、その日の天気等を見てドライブに行くなど、できるだけ戸外に出かけられるように支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お小遣いを預かり、不足品を確認し、欲しい物や必要な物なども伺い、購入し、残金の確認もして頂いている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話をしたいと希望があれば対応し、依頼があれば手紙の代筆や投函を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎日の掃除を利用者で行い、不快がないよう配慮している。玄関先には季節の花を植え、ホールの壁には季節を感じられる飾りを利用者と作成し、掲示している。</p>	<p>リビングはエアコン、換気扇、濡れタオルを使用したり、カーテンで日光を調節する等、過ごしやすい室内環境に調節しており、窓を開けて換気も十分行っている。季節の飾りつけがされた室内で利用者が思い思いにくつろげるよう、ソファや席の配置を工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>気の合う方同士で過ごせるように席の配置を工夫したり、椅子だけではなく、ソファでくつろげるように工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所時は自宅で使い慣れたものや思い出の写真などを持ち込んで頂き、安心して居心地よく過ごせるように工夫している。</p>	<p>居室にはベッドやタンス・エアコンがあり、ドアの窓はカーテンで目隠しされ、寝具はリースである。本人は、使い慣れた毛布や衣装ケース・ハンガーラック・ソファ・テレビを持ち込んだり、時計やクッション・写真等を身の回りにおいて居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>各居室には名札を設置したり、トイレなどもわかりやすい様に表記している。個々の残存機能を把握し活かせるよう、職員間で情報共有し、自立した生活が送れるように工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない